

がん相談支援センターがつなぐお手伝いをします

がんと診断されて療養を続けていく中で、ご心配なことはありませんか？

がん相談支援センターは、がん患者様やご家族が安心して過ごすことが出来るよう、様々なご相談をお受けしています。看護師やソーシャルワーカーがお話をうかがい、必要に応じて他の専門職（医師や薬剤師等）と協力しながら対応しています。

【がん相談】

「治療の費用が高額にならないか心配」「自宅療養するとき利用できるサービスを知りたい」「家で暮らすことが難しい場合はどうしたらよいだろう」「治療をしながら仕事を続けていけるだろうか」など、様々な心配ごとのご相談をお受けします。

【がん看護外来(予約制)】

「病気や治療のことで気がかりなことがある」「気持ちの整理ができない」「療養生活の工夫や対応を知りたい」など不安や心配ごとについて、緩和ケア認定看護師がお話をうかがいます。医療保険の適応になり、ご負担をいただく場合もあります。

【がん患者サロン ～いきいきかぐらざか～の企画運営】

がん患者さまやご家族が体験を分かち合い自分らしく過ごすことを目指して、

交流の場を設けています。2018年、2019年はがんを遠ざける健康的な生活を自分でデザインするための「生活習慣プログラム」を開催しました。2020年度は新型コロナの影響で開催することが出来ませんでした。今後については、状況を見ながら考えていきたいと思っております。

【緩和ケア病棟のご相談・予約】

緩和ケア病棟は、がんそのものの治療は行わない方を対象に、痛みをはじめとする様々な症状を和らげ、穏やかに過ごしていただけるよう支援する病棟です。当院にも緩和ケア病棟がありますので、ご入院をご希望される方の外来の予約相談にも対応しています。

がん患者さま同士、ご家族、医療従事者、地域の関係者、様々なサービスなどをつなぐお手伝いをしたいと考えています。

ぜひお気軽にご相談ください。

がん相談支援センターは、
本館1階患者サポートセンター内にあります。
連絡先:03-3269-8137(がん相談直通)
平日9:00~16:00 面談は予約制です。



独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京新宿メディカルセンター

発行:JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会
〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1
電話 03-3269-8111 (代表) URL : <http://shinjuku.jcho.go.jp>



独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京新宿メディカルセンター

がん診療情報誌

いきいきかぐらざか

れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。
「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会



れんげ草

腫瘍循環器外来について

循環器内科医長 谷地 織

「腫瘍循環器」とは腫瘍(≒がん)と循環器疾患(≒心臓病)の両者が重なった領域を扱う、新しい診療分野です。

腫瘍循環器学は、がん患者のQOL(生活の質)向上を目的に、予防・診断・治療に関する教育・診療・研究の向上を目指す学際領域の多職種連携です。2012年～2017年に欧米の臨床腫瘍学会および心臓病学会において相次いで腫瘍循環器学のガイドラインが発表され、本邦でも2017年に日本腫瘍循環器学会が発足しました。

腫瘍循環器学が注目されている理由の1つは、高齢化によるがんと循環器疾患の合併です。がん治療の進歩に伴いがん患者の生存率は大幅に改善されたことにより、がん患者やがんサバイバーで循環器疾患を発症する人たちが急増しています。高齢者には循環器疾患もがんも多く発症するため、両疾患の合併も多くみられます。理由の2つめは、薬物療法や放射線療法などによるがん治療に伴う心血管毒性の多さです。アントラサイクリン系薬剤による心筋症など以前から知られているものもありますが、近年、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬など新規治療法の登場に伴い、心

不全、冠動脈疾患、弁膜症、不整脈、高血圧、血栓塞栓症、心膜疾患など、がん治療関連心機能障害(CTRCD)という新たな病態がわかってきています。外来治療を受けているがん患者の死因の第2位は、がん治療関連心機能障害の1つである血栓塞栓症であるというデータもあります。

腫瘍循環器学では腫瘍専門医および循環器専門医が連携し、がん治療を完遂し生命予後を改善するという目標を共有して、がん治療前・治療中・治療後のハイリスク患者・ハイリスク治療への対応などをおこなっています。

東京都がん診療連携拠点病院としての役割を果たす当院においても2020年4月から新たに腫瘍循環器専門外来を開設し、がん患者さんの心臓を守る取り組みを開始しました。

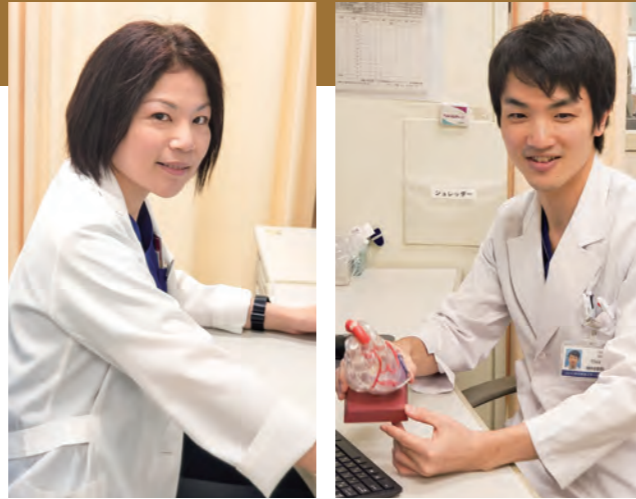


菫

腫瘍循環器外来

■担当診療グループおよび担当医師

診療科	担当医師
循環器内科	谷地 織
循環器内科	竹山 誠



医師 谷地 織

医師 竹山 誠

■外来日時

毎週月曜日 13時30分～

(要予約:外来予約センター 03-3269-8180)

※緊急対応が必要な場合、外来時以外も対応いたします。お気軽にご相談ください。

■対象疾患

- がん治療前の心機能評価
- がん治療中あるいは後に出現した心血管疾患の診断と治療
- 心臓病を有する患者さんのがん治療における心臓病悪化のリスクの評価と管理
- がんサバイバーの長期外来管理

木曜日の午後、乳腺外科外来を始めました。

副院長 外科部長 山形 誠一

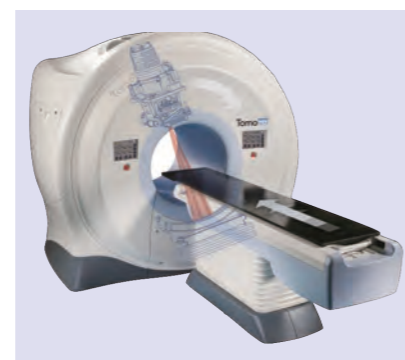
乳癌は女性の癌の発生部位別の罹患数で1位、死亡数で5位であり、当院の健康管理センターでも毎年多数の患者様が見つかっています。

当院では、30年以上前から乳腺外科外来を発足して、乳癌の治療を積極的に行ってまいりました。しかしながら、2020年7月に乳腺専門医の退職に伴い、金曜日午前に東京大学からの非常勤医師による外来を限定的に行うのみとなり、大幅に診療を縮小せざるを得なくなっていました。この間、地域の皆様のご要望に十分に答えることができず、大変申し訳なく感じております。

そんな状況の中、日本歯科大学乳腺外科が医局を挙げて協力してくださることとなり、11月より、まずは木曜日午後にも乳腺外来を開

始することとなりました。

日本歯科大学外科の櫻井健一教授は、日本の乳腺外科の第一人者で豊富な経験と実績をお持ちで、患者様には安心して受診していただけるものと存じます。また、当院には乳腺外



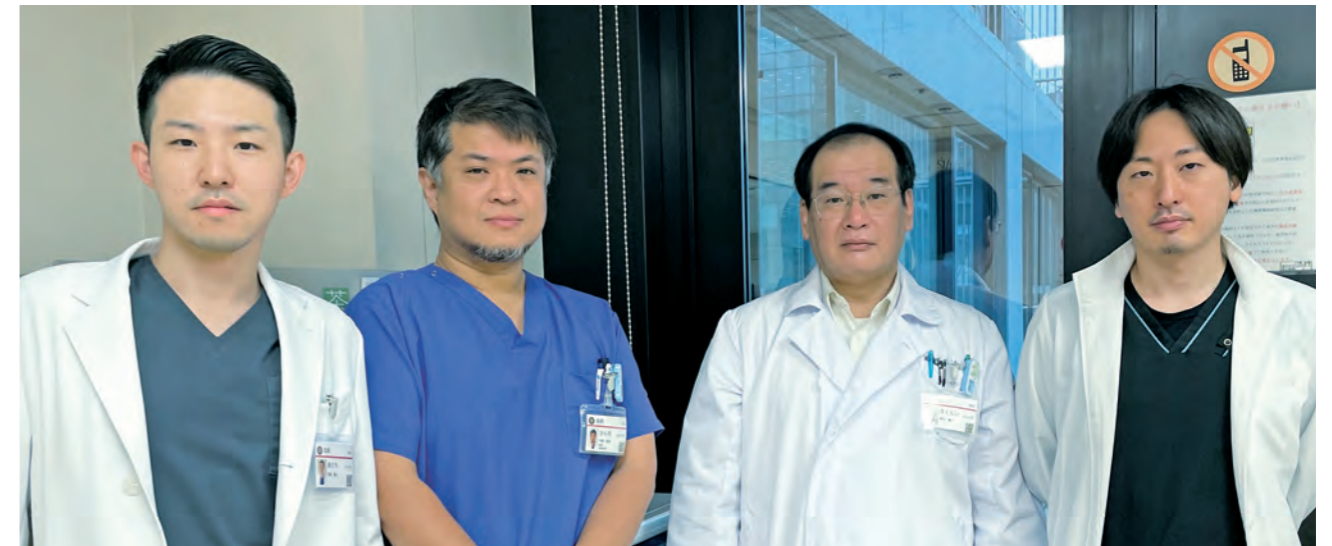
強度変調放射線治療装置(トモセラピー)

科診療に必要な、強度変調放射線治療装置(トモセラピー)3テスラMRI、RI検査装置が整備されています。現状では、手術、化学療法は日本歯科大学で行うこととなりますが、ゆくゆくは当院で行えるように整備を進めていきます。

受診は紹介予約制で、外来予約センター(03-3269-8180)で平日8:30～17:00に予約を承っております。どうぞよろしくお願いいたします。



3テスラMRI



日本歯科大学外科スタッフ

セカンドオピニオンをご希望の方へ

セカンドオピニオンは、「主治医以外の医師の意見」、「第二診断」とも言われています。当院では積極的に医師の意見を提供し、患者さま自らで治療法などの選択が出来るように、そして納得して治療が受けられるようにお手伝いしたいと考えております。

他医療機関に受診中で、当院の医師に意見をお求めになりたい方は、各科外来(受付時間:平日14時～16時)にお問い合わせください。1件あたり、33,000円の費用がかかります。病理診断医による診断が行われる場合、別途8,250円も合わせて必要になります。

また、当院受診中の方で、他医療機関のセカンドオピニオンをご希望される場合は、主治医または各科受付まで遠慮なくお申し出ください。